

支援の輪

首里城再建へ

第九収益一部 50万円を寄付

実行委 配信公演

沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」実行委員会(岩崎セツ子実行委員長)は16日、第6回同音楽祭「首里城再建を願う特別公演」の収益金の一部50万円を首里城基金へ寄付、首里城公園管理センターで沖縄美ら島財団の花城良廣理事長(同左)へ手渡した。

公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため守礼門前広場を会場に演奏をオンラインで配信。クラウドファンディング「Link-U(リンクユー)」で延べ187人から173万



8千円の支援を受け、必要経費を除き寄付した。

岩崎委員長は「多くの第九や首里城ファンからいただいた温かい支援金。首里城の美術工芸品を保存、修復し、未来へつながる首里城基金で活用してほしい」と期待した。

花城理事長は「感染者を出さことなく実施できて良かった。いただいた寄付金がどう活用されたかも発信していきたい」と感謝した。

特別公演には合唱団有志40人と沖縄を代表する声楽家、ピアニストが出演。指揮は武田光史さん。共催は琉球放送、沖縄タイムス社。